

漁海況情報

(漁況)

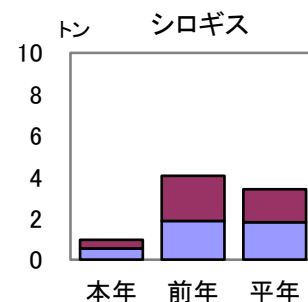
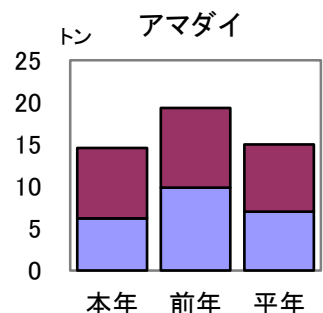
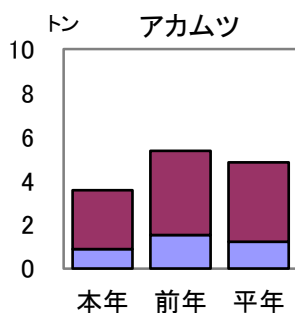
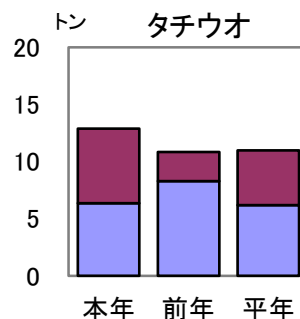
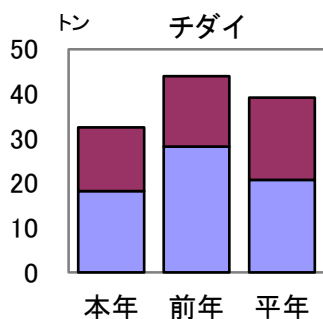
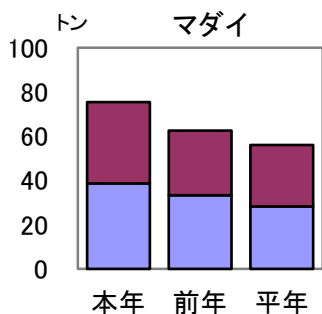
発行 新潟県水産海洋研究所 TEL 025-261-2043
 新潟市西区五十嵐3の町13098-8 FAX 025-261-0335
 025-261-2044

第 497号 平成 25年 9月発行

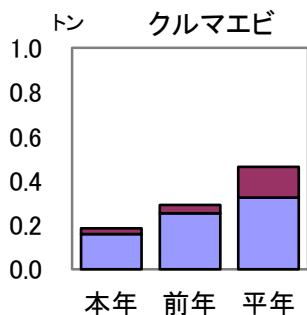
平成25年7～8月の県内主要地区水揚量(全漁業種類の合計)

単位:トン

地区	魚種	マダイ	チダイ	タチウオ	アカムツ	アマダイ	シロギス	クルマエビ
山	北	20.41	12.69	0.13	0.51	6.01	0.62	0.02
	船	11.79	1.57	0.02	1.12	3.81	0.29	0.00
岩	瀧	10.36	1.17	0.25	0.28	3.39	0.04	0.00
	崎	10.58	4.67	0.41	0.11	0.14	0.00	0.00
新	立	4.08	1.33	0.08	0.41	0.00	0.00	0.00
	雲	14.07	9.65	2.90	0.73	1.02	0.00	0.00
出	石	3.47	1.37	6.98	0.06	0.15	0.00	0.04
	生	0.60	0.02	2.10	0.36	0.06	0.00	0.12
名	魚							
筒	川							
能	計	75.36	32.47	12.88	3.57	14.56	0.95	0.19
系	前	62.58	43.97	10.85	5.36	19.31	4.06	0.29
魚	年	55.99	39.13	10.98	4.84	14.97	3.40	0.46
糸	5							
川	年							
計	平均							



■ 7月 ■ 8月



・7～8月の底魚類について、マダイは前年、平年を上回りました。
 ・チダイは上越地区では好漁でしたが、8地区合計では前年および平年を下回りました。
 ・タチウオは能生・筒石地区で好漁となり、前年および平年を上回りました。
 ・アカムツは前年および平年を下回りました。
 ・アマダイは前年を下回り、平年並みとなりました。
 ・シロギス、クルマエビは、前年および平年を下回りました。

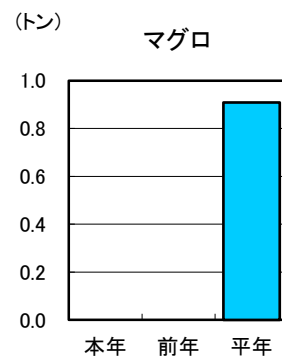
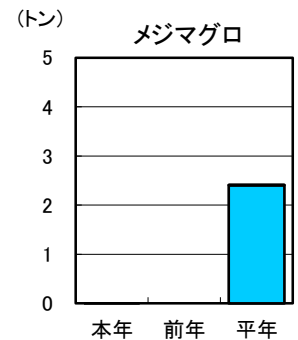
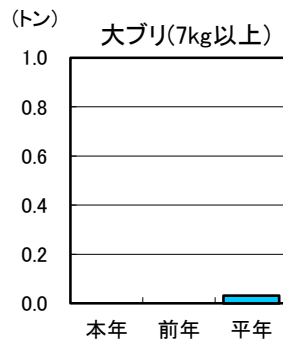
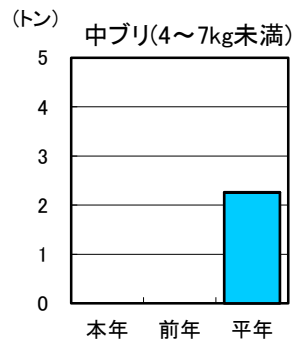
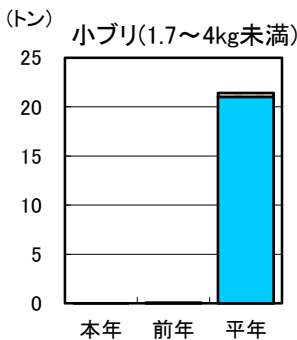
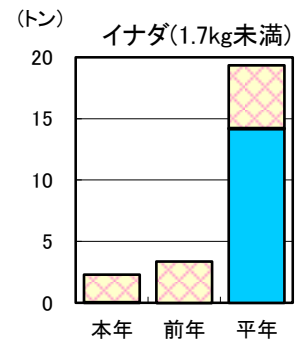
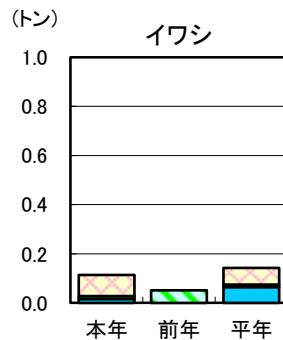
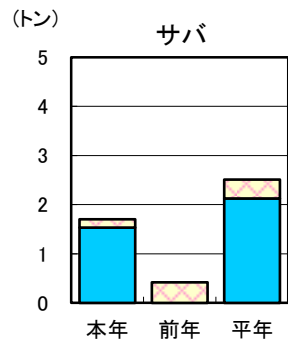
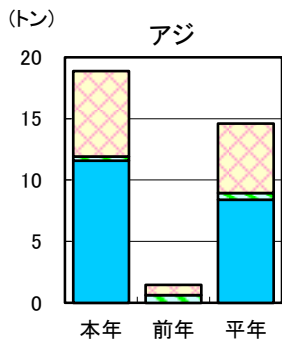
◎定置網

新潟県内主要定置網の水揚量(平成25年8月分)

単位:トン

魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	11.6	1.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山北	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩船	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	5.7	0.2	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青海	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	18.9	1.7	0.1	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前年	1.5	0.4	0.1	3.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
5年平均	14.6	2.5	0.1	19.3	21.4	2.3	0.0	2.4	0.9

魚種	サワラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	3.2	16.5
山北	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩船	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5
糸魚川	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	2.8	10.9
青海	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	3.8
計	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	7.4	31.7
前年	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	4.3	10.9
5年平均	1.2	0.0	0.0	0.1	0.0	2.4	0.3	9.8	77.5



□南部(糸魚川・青海) □北部(山北・岩船) ■佐渡

・8月の水揚量は32トン、前年比291%、平年比(過去5ヶ年平均比)41%でした。これは両津湾地区ではごく一部しか操業がなかったことが影響しています。昨年も両津湾地区の操業はわずかでした。

・アジは、前年・平年を上回りました。

・サバは前年を上回りましたが、平年を下回りました。

・イワシは前年を上回り、平年並みでした。

・ブリ類は、すべての銘柄で平年を下回りました。

・マグロ類では、メジマグロ、マグロともに平年を大きく下回りました

◎まき網 (平成25年8月分)

単位:トン

	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新潟	0	0	0	0	0	0	0
柏崎	0	0	0	0	0	0	0
寺泊	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
前年	11	97	0	0	0	0	107
5年平均	26	109	0	6	6	39	186

・8月の水揚はありませんでした。

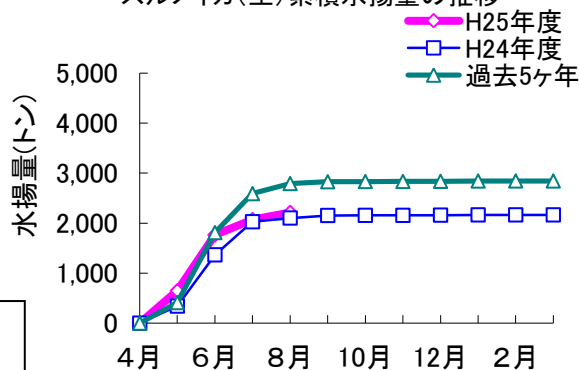
◎いか釣 県内主要地区の水揚量(平成25年8月) 単位:トン

地区	隻数	水揚量
山北	26	11
岩船	13	25
新潟	26	34
両津	156	73
計	221	143
前年	151	75
5年平均	276	203

隻数:操業した延べ隻数

- ・8月の水揚量は前年比191%、平年比(過去5ヶ年比)70%でした。
- ・1隻1操業あたりの水揚量は647kgで、前年比130%、平年比88%と、前年を上回りましたが、平年を下回りました。
- ・4~8月の累積水揚量は2,215トンで、前年比105%、平年比79%と平年を下回って推移しています。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎大型クラゲ情報

(独)水産総合研究センターや関係機関が東シナ海や対馬海峡などで調査を実施し、(社)漁業情報サービスセンターが各機関、各府県の出現情報などを取りまとめています。

9月19日までに公表された情報によると、対馬海峡から青森県までの広範囲で出現が確認されており、新潟県内でも、9月6日に上越沖で初めて確認されて以来、県内各地で散発的な確認が続いています。本県での出現は今のところ少量に留まっていますが、対馬~山陰海域では出現量が増加しているほか、日本海北部海域では100cm以上の大型サイズの個体が確認されています。引き続き、今後の情報には十分ご注意ください。

大型クラゲの情報は、ホームページにも掲載しています: <http://www.pref.niigata.lg.jp/suikai/2013kuragejoho.html>

◎近県の漁況...カッコ内の数字(%)は前年同月比(富山県、石川県は前年同旬比)

山形県(8月)

定置網:イシダイ0.8t(246%)、ブリ類0.7t(28%)、アジ0.4t(73%)、採貝藻漁業:イワガキ46.6t(62%)、サザエ6.8t(59%)、はえ縄漁業:タイ類1.6t(45%)、ノドグロ1.3t(71%)、マグロ1.2t(97%)、サバ1.0t(4316%)

富山県(8月下旬)

フクラギ95.6t(81%)、マイワシ31.7t(-%)、シロエビ21.5t(75%)、シイラ17.7t(63%)、貝類12.8t(102%)、アジ類11.7t(94%)、カタクチイワシ4.2t(22%)、カマス3.2t(9%)

石川県(8月下旬)

定置網:マイワシ55.3t(-%)、コゾクラ52.5t(164%)、シイラ34.0t(69%)、マアジ6.1t(37%)、まき網:フクラギ370t(334%)、マサバ100.1t(71%)、コゾクラ11.8t(48%)、マアジ10.6t(43%)、刺網その他:ベニズワイガニ23.1t(193%)、サザエ18.7(65%)、ハタハタ17.4t(73%)、カワハギ14.7t(397%)